

8:20- 受付

センターホール 1階 エントランス

5/19 (日) [3日目プログラム]

研究発表	【分科会Ⅰ】	松ヶ崎・西キャンパス内 センターホール	【分科会Ⅱ】	松ヶ崎・東キャンパス内 60周年記念館1F記念ホール
9:20-10:00	南蛮屏風に描かれる図様の成立と主題についての考察 — 日明貿易に関わる儀礼を通して — 三木 沙友理 (滋賀県立大学)		《アキレウスとアイアスの将棋対決を表す群像彫刻》について — 将棋の同時代的意義とアクロポリスの奉納文化に基づく奉納理由の分析 — 小松 誠 (筑波大学)	
10:00-10:40	狩野山雪筆「蘭亭曲水図屏風」について 細川 明日香 (外務省外交史料館)		ハンス・メモリンク《聖ウルスラの聖遺物箱》 — ナラティブによる聖性と救済思想の顕示 — 山形 美有紀 (京都大学)	
10:40-11:20	伊藤若冲の著色画における漆の使用をめぐる — 徽宗憧憬の可能性 — 太田 梨紗子 (神戸大学)		ミケランジェロの素描《ヘラクレスとアンタイオス》 — 視点を手掛かりとした群像表現の考察と主題解釈 — 新倉 慎右 (Bunkamura ザ・ミュージアム)	
11:20-12:00	「砧絵硯箱」(東京国立博物館蔵)の意匠について — 15世紀の歌絵意匠の展開 — 木村 真美 (学習院大学)		サンタ・マリア・デル・ポーポロ聖堂キージ家礼拝堂クーポラの解釈について — 惑星、天使、光の作用に注目して — 関 大輔 (大阪大学)	
(昼 休 み)				
13:30-14:10	三代広重の描く都市 — 江戸・横浜・東京 — 神谷 蘭 (学習院大学)		グエルチーノ《受胎告知》とエスコラピオス修道会 大塚 優美 (神戸大学)	
14:10-14:50	今村紫紅筆「近江八景」の写実性に関する考察 — 「近江八景写生帳」を起点として — 原田 礼帆 (名古屋大学)		ペーター・フォン・コルネリウスによるグリプトテーク 「神々の間」「トロイアの間」の装飾について 落合 桃子 (福岡大学)	
14:50-15:30	近代日本の独立画家の画風変遷と支持層 — 大橋翠石を事例として — 村田 隆志 (大阪国際大学)		J.E.ミレイ《シンデレラ》の孔雀の羽根と唯美主義 長尾 順子 (清泉女子大学)	